



2022/9/19 第7回京都府合気道連盟講習会(京都市武道センター旧武徳殿)にて

3年間続いたコロナ感染症の終焉が見え始めてきました。

2020年の年明け、3月に控えていた綾部市の記念大会を盛り上げるムードで溢れていたことが遠い昔のようにも思われてきます。

あれから3年、厳しい社会規制と過酷な稽古環境の中で、私たち合気道家は今なすべきことに集中し、稽古への熱い思いを静かに腹の奥に沈め、じっと環境と人間を観察し続けてきました。そして、単体捌き稽古、武器稽古、マスク着装、人数制限などさまざまな規制の中であっても、ひたすらできる稽古を続けてきました。

今思うと、コロナ感染症の時代を正面から受け止めることができたという事実は、これからの合気道の普及振興にぐっと底力がついてきたようにも思います。何を捨て、何を残していくべきか、を真剣に考えた3年の月日は、稽古仲間と合気道への感謝の気持ちとともに、武道家にとっての賢明な決断という「生き方」を私たちに明確に示してくれたように思うのです。

2023年もきっと、京都府合気道連盟の大きな成長になる年であると、確信しています。

2023年1月 京都にて

京都府合気道連盟 理事長  
合気道京都 岡本洋子



2022/9/19 第七回京都府合気道連盟講習会(京都市武道センター旧武徳殿)にて

去る9月19日(敬老の日)京都武道センター内旧武徳殿にて、入江嘉信本部指導部長をお招きして講習会が開催されました。コロナ禍による延期もあり、京都府連として実に三年十ヵ月ぶりの行事となりました。

京都府下より約130名が集い入江先生の指導の下、準備体操から各種基本技・座技呼吸法・整理体操に至るまで3時間近くみっちりご指導いただきました。改めて基本技の大切さを認識すると同時に、重厚な佇まいの旧武徳殿で稽古する喜びに浸ることができた一日でもありました。

これに先立ち、岡本理事長・小川実行委員長を中心に役割分担して準備を進めてきました。とりわけ感染対策にはガイドラインを事前配布し、開催に備えました。台風通過と重なり直前まで開催が危ぶまれましたが、関係者の柔軟な対応・協力で無事に開催でき、実行委員として感謝に堪えません。皆様に深く感謝申し上げます。

その後10月29日に反省会を行い、小川委員長から講習会のアンケート結果配布と説明・討議を行いました。参加者には、概ね講習会に満足いただけたという印象でした。しかし一方で、準備片付けやマナー面で一部の方から厳しいご意見も頂戴しました。この点については真摯に反省し、次回講習会に

繋げていきたいと思えます。

感染症との戦いは、なかなか終息する兆しが見えません。その中でも今回、関係者の努力と熱意により久しぶりに講習会が開催できたことには大きな意義があると思えます。今後も、京都府連行事への皆様のご協力ご支援をお願いいたします。有難うございました。



## Upcoming events

### 行事予定

- 2月18日(土) 令和4年度 第2回理事会/評議員会 役員改選選挙
- 4月22日(土) 令和5年度 第一回 理事会・評議員会 【場所未定】
- 5月27日(土) 第60回 全日本合気道演武大会 【日本武道館】
- 9月15日(金)~17日(日) (日程暫定) 第一回IAF国際青年合気道大会
- 11月12日(日) (日程暫定) 令和5年度 第8回府連大会
- 日程未定 令和5年度 第二回 理事会・評議員会 【場所未定】

京都府合気道連盟に加盟されている道場の活動や特色などをご紹介いただきます。

### ●梅村勝巳（広野道場）

はじめに広野道場の沿革について紹介します。2007年(平成19年)4月に登り助育センター道場の姉妹道場として宇治市立広野中学校に開設されました。初代道場長の故・高木比呂志先生は、合気道に対して常に情熱と探求心を持ち指導にあたっておられましたが、2010年(平成22年)2月にご逝去され、道場は一時休館状態となりました。2012年(平成24年)4月、二代目道場長の堀元和豊先生が高木先生の志を引き継ぎ再開、いつも温かく柔らかな対応で会員も順調に増えてきましたが、2020年(令和2年)7月に健康上の理由で退任されました。その後、私が三代目道場長となり、新型コロナウイルスへの対応など大変な状況は続いておりますが、2022年(令和4年)、当道場は設立15周年を迎えました。

設立15周年を機に、この間の歩みを継承しながら更なる道場の成長・発展を目指し、稽古場所を「宇治市立広野中学校」から「城陽市立城陽中学校」に移転しました。JR城陽駅から徒歩3分、常時畳が敷かれている柔道場でとても便利になりました。

### 武道教育について

この移転から間もなくして、城陽市での中学校武道授業の話をいただき、これも何かのご縁と思い申請しました。昨年11月1日に「武道授業推進実践モデル校」の北城陽中学校の体育館において、3,4時間目に2年生3クラス合同(91名)、5,6時間目に1年生3クラス合同(92名)を対象に合気道の武道授業を行いました。一度に90名もの多くの生徒に合気道を指導することは難しく、私を含め6名の有段者で、男子生徒3組、女子生徒2組の計5組にグループ分けをして行いました。『けがのないように合気道を知ってもらおう』というコンセプトのもと、プロジェクターを利用して合気道の歴史、準備体操、体捌きや基本技の説明をしながら、実際に一教抑え、隅落とし、四方投げ、小手返しを練習しました。受け身の練習をしたことがない生徒も多く、体操用マットで時間をかけて受け身の練習をしてもらいました。授業はけがもなく無事に終わり、こちらも生徒の皆さんから若さのエネルギーをもらい、楽しく合気道の稽古ができました。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。



スライドでの説明



受け身の練習

### ●山川容永(大宮道場)

大宮道場は、京都市北区で平成24年8月から活動を開始しました。おかげさまで、昨年で道場開きから10周年を迎えることができました。活動より数年間は、少年部が大半を占めていましたが、今ではその子どもたちも中学生・高校生となり一般の部の人数と逆転しました。子どもたちが熱心にお稽古に参加してくれて上達していくこと、成長を見守ることができることが私たち指導者の何よりの励みになっています。

当道場では、お稽古を通して学校生活、社会生活で活かせる対応力を身につけていただくことを目指しています。具体的には、「礼」「所作」「お互いを慮る心」「柔軟な心」を大切にしています。

・「礼」を行う時は毎回、必ず相手を意識して丁寧に大切にを行う。

・「所作」は、技の練習の時だけでなく普段から立ち居振る舞い、言葉遣いを意識する。

・「お互いを慮る心」「柔軟な心」を持つために、全員が先生となりお稽古で困っている人がいたら一緒に考えて解決する。

道場生たちは皆穏やかで、道場の雰囲気は非常に和やかです。近くにお越しの際は、是非お立ち寄り下さい。



1/26 六角堂にて